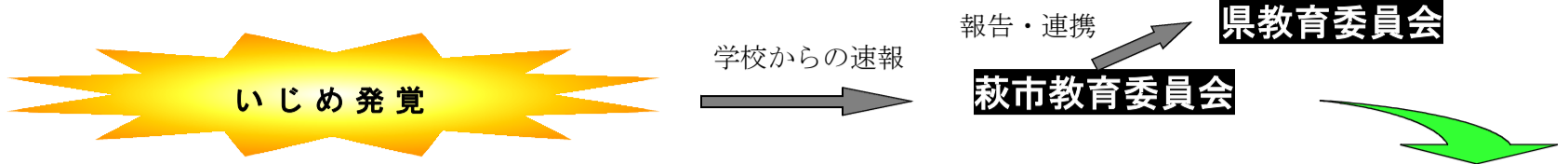


いじめ対応の流れ等

萩市教育委員会



	学 校	教育委員会
1 初 期 対 応	<p>① いじめ発覚時の対応</p> <p>■ 第一通報者(本人、保護者、周囲の友人等)から聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 詳細確認 いじめの内容・期間、関係した児童生徒、原因(動機)・背景、いじめの「四層構造」等 <p>■ 連絡・速報</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職(校長・教頭)・生徒指導主任・学年主任等への連絡 ・5W1Hについて、分かっている範囲で、事実のみを正確に伝える。(可能ならメモで) ○ 学級担任等が、様々な情報を一元的に集約し、時系列で、詳細かつ正確に記録する。 ○ 聴取の際は、不測の事態も想定されるので、絶対に児童生徒を一人きりにしない。 <p>② 調査方針協議</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いじめ対策委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報集約 ○ 被害児童生徒・保護者への対応 ○ 加害児童生徒・保護者への対応 ○ 他の児童生徒への対応 ※ 以後、必要に応じて開催 </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>職員会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全教職員への周知と共通認識 ○ 概要をまとめた資料を用意する。 ○ 今後の対応策の検討と役割分担 ○ 今後の対応の方向性を定めた原案を用意した上で協議する。 </div> </div> <p style="text-align: center;">(事案により)</p> <p>③ 当事者・周囲からの聴取</p> <p>■ 被害児童生徒から聴取 被害児童生徒と信頼関係にある教職員が、別室で行う。</p> <p>■ 加害児童生徒から聴取 複数の教職員(生徒指導主任等を中心に役割分担を決める)が、別室で行う。</p> <p>■ 周囲の児童生徒から聴取 複数の教職員(該当学年教員等を中心とする)が、別室で行う。</p> <p>④ 対応方針協議</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いじめ対策委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害児童生徒・保護者への支援 ○ 加害児童生徒・保護者への指導 ○ 他の児童生徒への指導 ○ 関係機関等への支援要請の検討 ○ 出席停止の検討 </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>職員会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援・指導方法について全教職員への周知と共通理解 ○ 今後の対応の検討と役割分担 ○ 関係機関等への支援要請の決定 </div> </div> <p style="text-align: center;">(事案により)</p>	<p>■ 学校への指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校組織体制の確立 ・ 情報の詳細収集 ・ 児童生徒のケア体制確立 → SC派遣 ・ 警察との連携 ・ 心のケアのための支援 ・ 「出席停止」の措置 等 <p>■ 関係機関等への支援要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学直後及び事件に至るまでの詳細な状況の把握を必要とする場合 → 出身小学校、保育園 保育所等 ・ 知能・身体・情緒等に関する専門的な相談を必要とする場合 → ふれあい教育センター ・ 恐喝・暴行等犯罪に相当する場合 → 警察 → 少年安全サポーター → 少年サポートセンター ・ 一時保護を必要とする場合 → 児童相談所 <p>(随時) 緊急教育委員会会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有(初期・途中経過) ※電話連絡の場合有り ・ 教育委員会としての方針と対応の確認 ・ 今後の対応における役割分担 等 <p>(随時) 県教委との連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況把握、随時報告 ・ 報告書の作成支援 ・ 臨床心理士の派遣依頼 等 <p style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 2px;">いじめに関わる暴力、自殺等の重大事態が発生した場合</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事件・事故発生時の緊急対応の流れ等」</p> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事態対応フロー図」</p> <p>を参照</p>
2 初 期 ・ 中 期 対 応	<p>⑤ 生徒・保護者への対応</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>被害児童生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共感的理解に基づく指導・支援 ○ 教育相談担当やスクールカウンセラー等による心のケア </div> <div style="font-size: 2em;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>被害児童生徒の保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電話による概要説明 ○ 家庭訪問の実施 </div> </div> <p style="text-align: center;">(連携支援)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加害児童生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再発防止に向けた指導・支援 ○ 謝罪方法についての話し合い ○ 教育相談担当やスクールカウンセラー等による心のケア </div> <div style="font-size: 2em;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加害児童生徒の保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 概要説明(家庭訪問、保護者来校等) ○ 今後の対応策を相談 </div> </div> <p style="text-align: center;">(連携支援)</p> <p>⑥ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級(周りの児童生徒)への指導 ○ いじめの状況が一定の限度を超える場合の対応 ・被害児童生徒に対して → 行為を遮断することが第一、緊急避難としての欠席等も検討 ・加害児童生徒に対して → 「出席停止」の措置 ○ 情報の取り扱い <p>⑦ 解消確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害児童生徒と加害児童生徒の事後の様子を継続的に注視し、いじめの完全解消を見極める。 ○ 保護者を含め、被害児童生徒の精神的安定を図るため、専門家と連携した中・長期の心のケアを検討する。 	<p>(随時) 緊急教育委員会会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有(初期・途中経過) ※電話連絡の場合有り ・ 教育委員会としての方針と対応の確認 ・ 今後の対応における役割分担 等 <p>(随時) 県教委との連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況把握、随時報告 ・ 報告書の作成支援 ・ 臨床心理士の派遣依頼 等 <p style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 2px;">いじめに関わる暴力、自殺等の重大事態が発生した場合</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事件・事故発生時の緊急対応の流れ等」</p> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事態対応フロー図」</p> <p>を参照</p>
3 中 期 ・ 長 期 対 応	<p>■ 未然防止・再発防止に向けた校内指導体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題について全教職員の危機意識の高揚 ○ 人権教育による人権尊重の意識の高揚 ○ 道徳教育による規範意識の醸成 ○ 日常的な実態把握 ・児童生徒に寄り添い、休み時間や給食、清掃活動などを含め、日常生活を注意深く観察する。 ・週1回のアンケート調査(生活調査等)や個別教育相談等により、実態把握に努める。 ○ 「社会で許されない行為は、学校でも許されない」とした方針・基準を共通理解 ○ 体験的な活動を通じた人間関係づくりの実践 ○ 指導力向上のための事例検討会の実施 ○ 学校環境の整備 ○ 保護者との連携強化 ○ PDCAサイクルによる、いじめ防止等に係る取組の評価・検証 ○ 学校基本方針の見直し(必要に応じて) 	<p>(随時) 県教委との連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況把握、随時報告 ・ 報告書の作成支援 ・ 臨床心理士の派遣依頼 等 <p style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 2px;">いじめに関わる暴力、自殺等の重大事態が発生した場合</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">↓</div> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事件・事故発生時の緊急対応の流れ等」</p> <p style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 2px;">○「重大事態対応フロー図」</p> <p>を参照</p>